

# 令和4年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「マルラマンティ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」 契約署名式の実施

在ボツワナ日本国大使館  
令和5年3月10日

令和5年3月9日、令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「マルラマンティ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」の契約署名式が、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、被供与団体「マルラマンティ・コミュニティ中学校」ムズリ校長及び来賓その他関係者出席の下、ハボローネ市にて行われました。式典の中で、大森大使及び被供与団体代表のムズリ校長は、供与額を80,349米ドルとする契約書に署名しました。

本計画は、ハボローネ市フェーズ4地区のマルラマンティ・コミュニティ中学校の敷地内に、特別支援教室、障害者用トイレ、職員室、保健室で構成される特別支援学級棟を新たに建設することにより、特別な支援を必要とする生徒に対して補習授業を行い、インクルーシブ教育の質の向上に寄与することを目的としています。

契約署名式において、大森大使は、「障害のある子どもたちがそれぞれの目標を達成するために、教育省をはじめ、保護者、学校職員、その他関係機関からの支援を得ることは大変重要である。日・ボツワナの友好の証として、マルラマンティ・コミュニティ中学校への特別支援学級棟建設を支援することにより、同国の特別支援教育が促進されることを期待している。」旨述べました。



(写真) 署名後の大森大使、ムズリ・マルラマンティ・コミュニティ中学校校長



(写真) 大森大使と来賓者